ジャパンラグビー リーグワン開幕記念企画

静岡ブルーレヴズ始動

前例のない挑戦の始まり



日本ラグビー界の新リーグ、「NTT ジャパンラグビー リーグワン 2022」がいよいよ始まりました。

2021年までのトップリーグを刷新し、各チームが本拠地「ホストエリア」を設定する、地域に密着した新しいリーグです。

ヤマハ発動機ジュビロは、ホストエリアを「静岡県全域」とした新チーム「静岡ブルーレヴズ」に生まれ変わりました。

企業から独立した日本ラグビー界初のチーム「静岡ブルーレヴズ」。 前例のない挑戦がここから始まります。 ヤマハ発動機ジュビロから何が変わったの?

磐田市民に知ってほしい 静岡ブルーレヴズ













ホストエリアは「静岡県」

リーグワンでは、各チームがホストエリアを設定しますが、静岡ブルーレヴズは磐田市 を含む「静岡県全域」をホストエリアとしています。磐田市とは昨年12月にパートナー 協定を結び、これまでどおり磐田市民にとって身近なチームとなっています。





○2 新会社を磐田に設立

2021年6月に、静岡ブルーレヴズ㈱がヤマハ発動機㈱の子会社として設立されました。 ラグビーチームが独立した会社となるのは、日本ラグビー界で初めてのことです。また 新会社の所在地やオフィスは、磐田市内が所在地です。

選手はヤマハ発動機様の社員も

ヤマハ発動機ジュビロから引き続き所属する社員選手は、今も仕事とラグビーを両立し ています。職場や地域の仲間として応援する形は、チームが変わっても変わりません。





練習はいつもの「大久保グラウンド」

主な練習場所はヤマハ発動機ジュビロのときと変わらず「大久保グラウンド」です。 見学もできて、迫力あるプレーを間近で見ることができるおすすめスポットです。

○5 試合観戦は地元「ヤマハスタジアム」

「ヤマハスタジアム」は静岡ブルーレヴズのホストスタジアムの一つです。 市内で試合観戦できる環境は変わらないので、スタジアムまでぜひ応援にいきましょう。



静岡ブルーレヴズ チームプロフィール

静岡から世界を魅了するクラブへ -

ホストエリア 静岡県

ファンの愛称 レヴニスタ チームカラー

BLUE

磐田市民へメッセージ

キャプテン 大戸裕矢選手



ホストスタジアム ヤマハスタジアム エコパスタジアム IAIスタジアム日本平

クラブスローガン All for Shizuoka

全ては静岡のために







磐田市の皆さま、いつも温かいご声援 ありがとうございます。ヤマハ発動機 ジュビロから静岡ブルーレヴズに生ま れ変わり、1月に開幕した「ジャパン ラグビーリーグワン」に参戦いたしま した。磐田市の皆さまをはじめ、静岡 の人々から愛され、静岡から世界を魅 了する日本一のプロフェッショナルラ グビークラブをつくっていきたいと思 います。ヤマハスタイルから進化をし た「レヴズスタイル」でリーグワン初 代チャンピオンを目指し一戦一戦戦っ ていきますので、ぜひともヤマハスタ ジアムで勝利を分かち合いましょう。

ジャパンラグビー リーグワンってどんなリーグ?

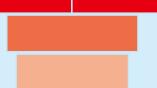
リーグは入れ替え戦ありの 3 部制

DIVISION1 12 チーム

DIVISION2 7チーム

DIVISION3 6チーム

カンファレンス A カンファレンス B





2022シーズンの 静岡ブルーレヴズは カンファレンスB

DIVISION1 (1部リーグ) のチーム数は 12 チームです。2 つのカンファ レンスに別れ、6 チームによるホスト&ビジターのリーグ戦、異なるカン ファレンスとの試合の各チーム計 16 試合を行います。

前身トップリーグの16チームより減少したことでよりハイレベルの接戦 が期待され、下位リーグとの入れ替え戦や上位4チームによるプレーオフ トーナメントもあるため、緊張感のあるリーグ戦となっています。

